

## 安川 哲生 議員



### (一問一答方式)

- ① 八幡浜・大洲地区運動公園
- ② 子ども医療費の助成

#### 八幡浜・大洲地区運動公園について

**問** 去る7月30日と31日に、国体に向けての本市開催競技のリハーサル大会として、女子第60回全日本実業団ソフトテニス選手権大会が開催された。多くのスタッフの方が、それぞれの分野でサポート等をしておられたが、国体本番に向けての課題等はなかったのか。

**答** 女子全日本実業団ソフトテニス選手権大会については、おもてなしの面ではおおむね成功し

たのではないかと評価しています。一方、競技団体との調整不足を初め、運営面においてさまざまな課題が見えてきました。早速、その対応策について一つ一つ検討を進め、すぐに対応が可能なものについては、ソフトボール競技のリハーサル大会において改善することにしていきます。また、関係機関と調整を要する事項などについても、早急に協議を進め、来年の国体本番に備えていきたいと考えています。

**問** 八幡浜・大洲地区運動公園にある陸上競技場は、今の状況を見ると、これが我が町の陸上競技場と胸を張って言えるのか。

来年の国体では陸上競技場も駐車場に使用されるようだが、使用後の陸上競技場の改修はどのようにされるのか。できれば、我が町の陸上競技場と市民が誇れるような陸上競技場に改修すべき時期にきていると考えているが、考えをお聞きたい。

**答** 陸上競技場は、えひめ国体開催時に駐車場として活用することから、今後の利用が難しくなることから、これを機にえひめ国体終了後の改修計画として、インフィールド部分を現在の天然芝から人工芝へ改修するほ

八幡浜・大洲地区運動公園（陸上競技場）



か、トラック部分の全天候化など、施設のリニューアルを検討するため、昨年陸上競技場改修の基となる計画を策定したところであります。今後は、組合を構成する各市町と協議を行いながら事業計画を立て、補助事業など有利な財源の検討を行い、できるだけ早い時期に改修に取り組めるよう協議を進めていきたいと考えています。

#### 子ども医療費の助成について

**問** 今年度、少子化対策関連予算が計上され、家庭の負担軽減と急激な少子化に歯どめがかかるものと大いに期待をしているが、子育て中の家庭環境は高度成長期と違い、余裕のないのが現状である。

子ども医療費については、県内各市町においても通院医療費まで無料化しているところが増加している。本市においても、完全無料化とはいかないまでも、4人以上の子供を育てている家庭や貧困な家庭などに、通院医療費に対する助成について検討すべき時期に来ているのではないかと考えるが、今後の取り組みについてお伺いする。

**答** 現在、大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略における移住・定住対策の中で、子育て支援、子育て世帯の経済的負担の軽減策について、本市の財政負担等の課題も考慮しながら検討しているところではあります。本市では、本年度から少子化対策として、保育所、幼稚園の保育料の第3子以降を無料化したところではあります。子ども医療費についても、それらとの考え方の整合を図りながら検討をしていきたいと考えています。